

河川工作物影響評価に係る調査結果の報告（資料 1）

調査結果から見た各河川の特徴

河川名	流域面積 (ha) a	河川延長 (m)	河床平均勾配 (%)	河川工作物		魚類等の生息状況	崩壊地			渓流 (m ³)		過去の災害及び土石流の発生状況等	保全対象
				設置数	落差 (m) (0.4m以上の基数)		個数	面積 (ha) b	崩壊率 (%) b/a*100	渓流内滞留土砂量 c	ha当り滞留土砂量 c/a		
羅臼川下流部	32	376	10.3	5	0~3.0 (2基)	サケ科魚類の生息を確認出来ず。	2	0.66	2.06	10	0	支流の河口部からカルバート橋と水路が直結してコンクリート製の河床が197mとなっている。	羅臼町市街地、温泉ホテル街、老人福祉施設、知床橋断道路(国道334号)、橋梁(知床大橋、湯の沢橋、湯元橋、熊越橋、公住橋、ラウス橋、オジロ橋)、ふ化場等
				3	1.2~3.0 (3基)	サケ科魚類の生息を確認出来ず。	8	0.87	0.56	171	1		
羅臼川中上流部	1,845	4,286	8.7	10	0~10.0 (9基)	サケ科魚類の生息を確認した。	90	29.21	1.58	40,132	22	昭和36年の低気圧、昭和40年の台風23号及び昭和47年の台風20号により大規模な土石流が発生した。また知床大橋より上流部には現在も大量の巨石が河床に重なりあっている。	
				2	0.4~8.0 (1基)	サケ科魚類の生息を確認した。	90	15.79	2.85	6,450	12		
羅臼川中上流部計	2,400	8,806	8.7	12	0~10.0 (10基)		180	45.00	1.88	46,582	19		
知徒来川支流	8	204	24.5	10	0.5~5.0 (10基)	サケ科魚類の生息を確認出来ず。	0	0	0	0	0	昭和56年の台風24号により山腹崩壊を原因とする土砂が流出した。	道道87号、知徒来橋、民家等
チエンベツ川	324	2,450	20.4	2 (前堤付き)	2.2~4.4 (2基)	サケ科魚類の生息を確認した。	14	1.78	0.55	3,700	11	昭和41、60年の豪雨により河川が荒廃した。	道道87号、知円別橋、民家、ウニ種苗センター、倉庫等
シヨウジ川	764	5,030	11.1	1	3.7 (1基)	サケ科魚類の生息を確認した。	51	18.53	2.43	8,425	11	昭和41年の豪雨により河川が荒廃した。	道道87号、岩見橋、駐車場、番屋、民家、倉庫等
オシヨロッコ川	339	1,819	13.7	1	2.3 (1基)	サケ科魚類の生息を確認出来ず。	28	3.72	1.10	740	2	治山ダムから63m上流に落差約7mの滝があり、その上流部には大規模な(約170ha)地滑り地がある。	道道87号、漁火橋、番屋等
アイドマリ川	363	2,132	14.1	3	0.8~2.1 (3基)	サケ科魚類の生息を確認した。	22	2.54	0.70	321	1	上流部に大規模な地滑り(約80ha)があり、地滑りにより出現したと思われる相泊湖がある。	道道87号、台泊橋、相泊漁港、番屋、民家、倉庫等

河川環境及び土砂動態調査結果（概要）

河川名	設置者	河川工作物No	河川工作物等区間距離(m)	工作物等落差(m)	河川環境		備考	土砂			動	態
					河川			ha当り累積崩壊地面積(ha)	ha当り累積渓流内滞留土砂量(m ³ /ha)	疑似掃流力		
					河川	環境						
本流	北海道(砂防)	19	222	4.00	有無	無しと判断した因子等		0.019	19	20,880	10年生(42)	
					有	温泉水より温泉水が流しているが、河川の水質が多く直接的な影響はないと思われる		0.020	18	19,826		
					有	なし		0.020	18	19,782	11年生(40)	
					有	河川工作物は昭和40年の台風により破壊埋没する		0.019	18	19,981	22年生(43)	
					有			0.020	18	20,088		
					有			0.019	16	21,696	20年生(34)	
					有			0.022	16	12,650		
					無	No 8の河川工作物の下流約60m地点に巨石による落差1.2mの魚止めの滝がある		0.022	16	12,639	9年生(30)	
					無	同上		0.022	16	12,409	9年生、15年生(31)	
					無	同上		0.024	16	11,107	15年生(36)	
					羅臼川	開発局	追1	(29) 0	0.00	有無	ボックスカルバートで延長29m、水深0.02mであり、追2の水路に直結	
無			0.021	0						346		
無	コンクリート水路で延長168m、水深は0.02m		0.026	0						445		
有			0.026	0						440		
有			0.028	0						418		
有			1.0									
無	三面コンクリート張水路で延長59m、水深は0.04m、温泉水が流入し水温19.5		0.006	1						1,925		
無	温泉水が流入し水温19.5		0.006	1						2,108		
無	温泉水が流入し水温20.2で上流約20m地点に源泉あり(水温42)		0.005	1						2,195		
有			4.0									
登山川	羅臼町	2	350	0.36						有		
					有			0.031	12	8,772		
					有							

注) 1, 遡上環境が有る場合でも、特記事項は記載した
 2, 工作物等区間距離とは、次の工作物、又は魚止めの滝間
 3, 工作物等区間距離の()は、水路等工作物の延長で外書
 4, ha当り累積崩壊地面積は、累積崩壊地面積/流域面積
 5, ha当り累積滞留土砂量は、累積滞留土砂量/流域面積
 6, 疑似掃流力は、流域面積×最上流部からの河床勾配
 7, ケヤマハンノキ樹齢は樹高成長曲線を作成し推定した
 (上層階の樹高を測定)
 8, ケヤマハンノキ樹齢の()は、河川工作物設置後の経過年数で外書

河川環境及び土砂動態調査結果（概要）

河川名	設置者	河川工作物No	工作物等区間距離 (m)	工作物等落差 (m)	河川環境		備考	土砂		備考	
					河川	環境		土	砂		
知徒来川	森林管理局	1	5	0.46	有無	無	無	0.000	0	211	
					無しと判断した因子等	無	水深は0.05mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	208	
					無	水深は0.06mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	208		
					無	水深は0.07mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	209		
					無	水深は0.08mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	213		
					無	水深は0.09mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	187		
					無	水深は0.10mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	191		
					無	水深は0.11mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	195		
					無	水深は0.12mで河床は三面コンクリートブロック張水路	0.000	0	151		
					無	水深は0.05m	0.000	0	118		
チエンベツ川	北海道	1	149	2.20	有	有	0.006	11	6,869		
					有	有	0.006	11	7,193		
シヨウジ川	北海道	1	450	3.70	有	有	0.024	11	8,710		
					有	有	0.011	2	4,800	9年生(18)	
オシヨロッコ川	森林管理局	1	63	2.34	有	有	0.007	1	5,271		
					有	有	0.007	1	5,328		
アイドマリ川	民間	1	35	1.91	有	有	0.007	1	5,349		
					有	有	0.007	1	5,349		
魚止滝	魚止滝	1	95	2.08	有	有	0.007	1	5,349		
					有	有	0.007	1	5,349		
魚止滝	魚止滝	1	1.3	1.3	有	有	0.007	1	5,349		
					有	有	0.007	1	5,349		

注) 1, 遡上環境が有る場合でも、特記事項は記載した
 2, 工作物等区間距離は、次の工作物、又は魚止めの場合
 3, 工作物等区間距離の()は、水路等工作物の延長で外書
 4, ha当り累積崩壊地面積は、累積崩壊地面積/流域面積
 5, ha当り累積滞留土砂量は、累積滞留土砂量/流域面積
 6, 疑似掃流力は、流域面積×最上流部からの河床勾配
 7, ケヤマハンノキ樹齢は樹高成長曲線を作成し推定した
 (上層階の樹高を測定)
 8, ケヤマハンノキ樹齢の()は、河川工作物設置後の経過年数で外書

年度	平成 18 年
河川工作物	WG
河川	全河川
図面名	河床縦断面図
縮尺	横: 1/40,000 縦: 1/8,000

(地盤高:m)

1,100

1,000

900

800

700

600

500

400

300

200

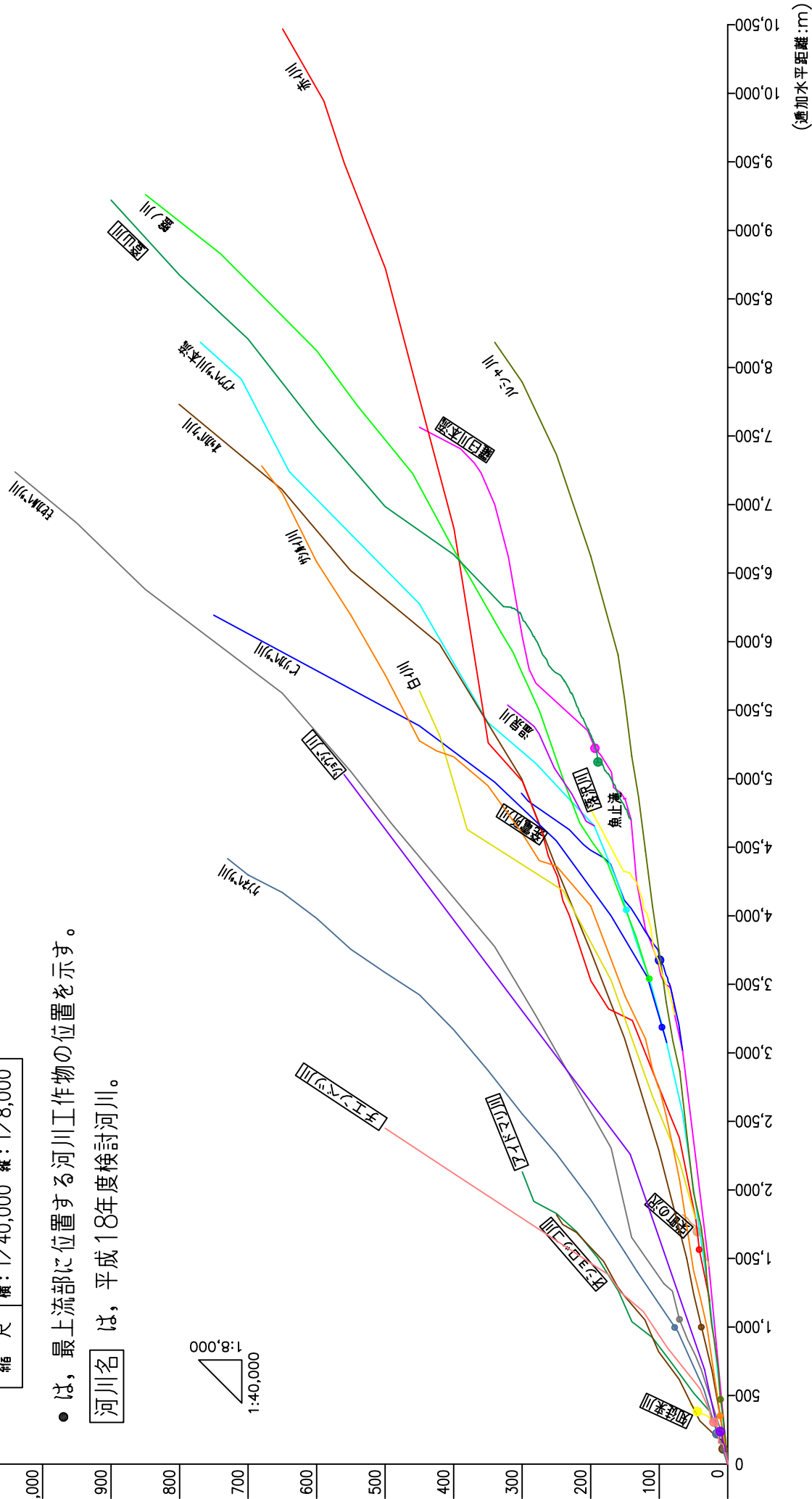
100

0

1:8,000
1:40,000

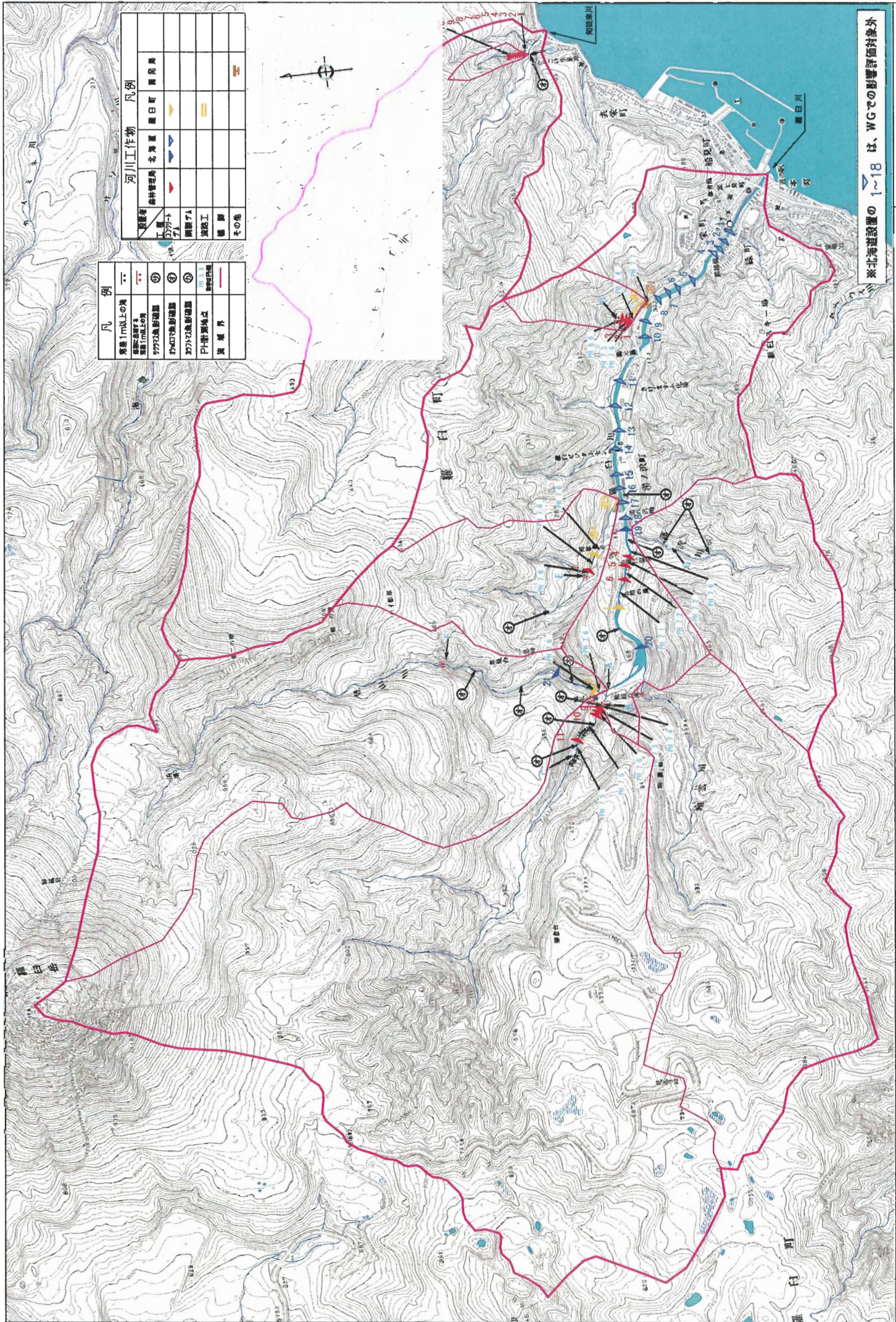
● は、最上流部に位置する河川工作物の位置を示す。

河川名 は、平成 18 年度検討河川。



(透加水距離:m)

10,500
10,000
9,500
9,000
8,500
8,000
7,500
7,000
6,500
6,000
5,500
5,000
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0

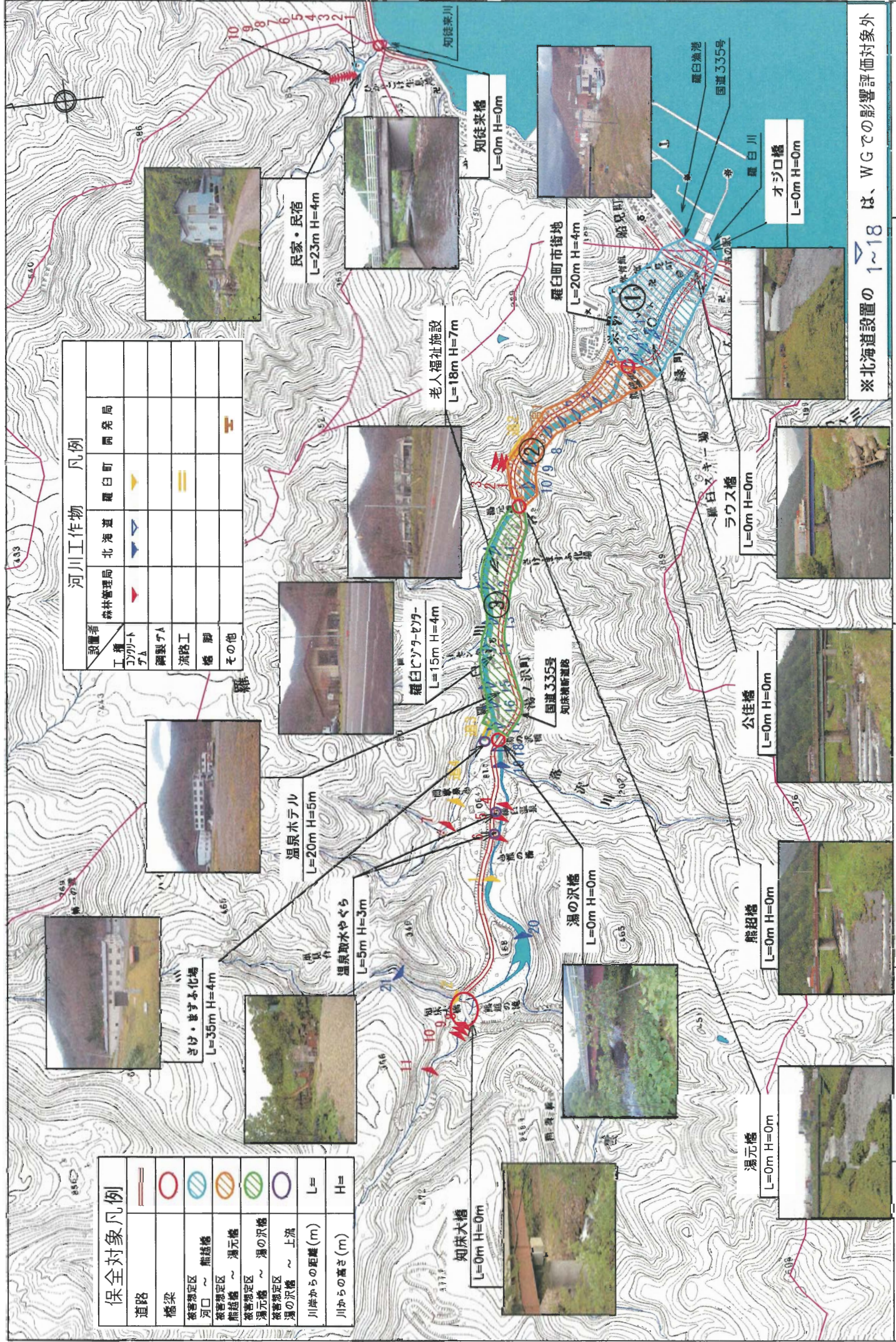


凡例	
※※	原差1m以上の濁
※※※	原差2m以上の濁
①	7/2727風防設置
②	7/2727風防設置
③	7/2727風防設置
④	7/2727風防設置
⑤	7/2727風防設置
⑥	7/2727風防設置
⑦	7/2727風防設置
⑧	7/2727風防設置
⑨	7/2727風防設置
⑩	7/2727風防設置
⑪	7/2727風防設置
⑫	7/2727風防設置
⑬	7/2727風防設置
⑭	7/2727風防設置
⑮	7/2727風防設置
⑯	7/2727風防設置
⑰	7/2727風防設置
⑱	7/2727風防設置
⑲	7/2727風防設置
⑳	7/2727風防設置
㉑	7/2727風防設置
㉒	7/2727風防設置
㉓	7/2727風防設置
㉔	7/2727風防設置
㉕	7/2727風防設置
㉖	7/2727風防設置
㉗	7/2727風防設置
㉘	7/2727風防設置
㉙	7/2727風防設置
㉚	7/2727風防設置
㉛	7/2727風防設置
㉜	7/2727風防設置
㉝	7/2727風防設置
㉞	7/2727風防設置
㉟	7/2727風防設置
㊱	7/2727風防設置
㊲	7/2727風防設置
㊳	7/2727風防設置
㊴	7/2727風防設置
㊵	7/2727風防設置
㊶	7/2727風防設置
㊷	7/2727風防設置
㊸	7/2727風防設置
㊹	7/2727風防設置
㊺	7/2727風防設置
㊻	7/2727風防設置
㊼	7/2727風防設置
㊽	7/2727風防設置
㊾	7/2727風防設置
㊿	7/2727風防設置

河川工作物 凡例	
①	治水管理用 北海道
②	治水管理用 北海道
③	治水管理用 北海道
④	治水管理用 北海道
⑤	治水管理用 北海道
⑥	治水管理用 北海道
⑦	治水管理用 北海道
⑧	治水管理用 北海道
⑨	治水管理用 北海道
⑩	治水管理用 北海道
⑪	治水管理用 北海道
⑫	治水管理用 北海道
⑬	治水管理用 北海道
⑭	治水管理用 北海道
⑮	治水管理用 北海道
⑯	治水管理用 北海道
⑰	治水管理用 北海道
⑱	治水管理用 北海道
⑲	治水管理用 北海道
⑳	治水管理用 北海道
㉑	治水管理用 北海道
㉒	治水管理用 北海道
㉓	治水管理用 北海道
㉔	治水管理用 北海道
㉕	治水管理用 北海道
㉖	治水管理用 北海道
㉗	治水管理用 北海道
㉘	治水管理用 北海道
㉙	治水管理用 北海道
㉚	治水管理用 北海道
㉛	治水管理用 北海道
㉜	治水管理用 北海道
㉝	治水管理用 北海道
㉞	治水管理用 北海道
㉟	治水管理用 北海道
㊱	治水管理用 北海道
㊲	治水管理用 北海道
㊳	治水管理用 北海道
㊴	治水管理用 北海道
㊵	治水管理用 北海道
㊶	治水管理用 北海道
㊷	治水管理用 北海道
㊸	治水管理用 北海道
㊹	治水管理用 北海道
㊺	治水管理用 北海道
㊻	治水管理用 北海道
㊼	治水管理用 北海道
㊽	治水管理用 北海道
㊾	治水管理用 北海道
㊿	治水管理用 北海道

河川工作物WG 河川：羅白川 知徒来川 図面名：河川工作物及び河川環境の状況 縮尺：1：35,000

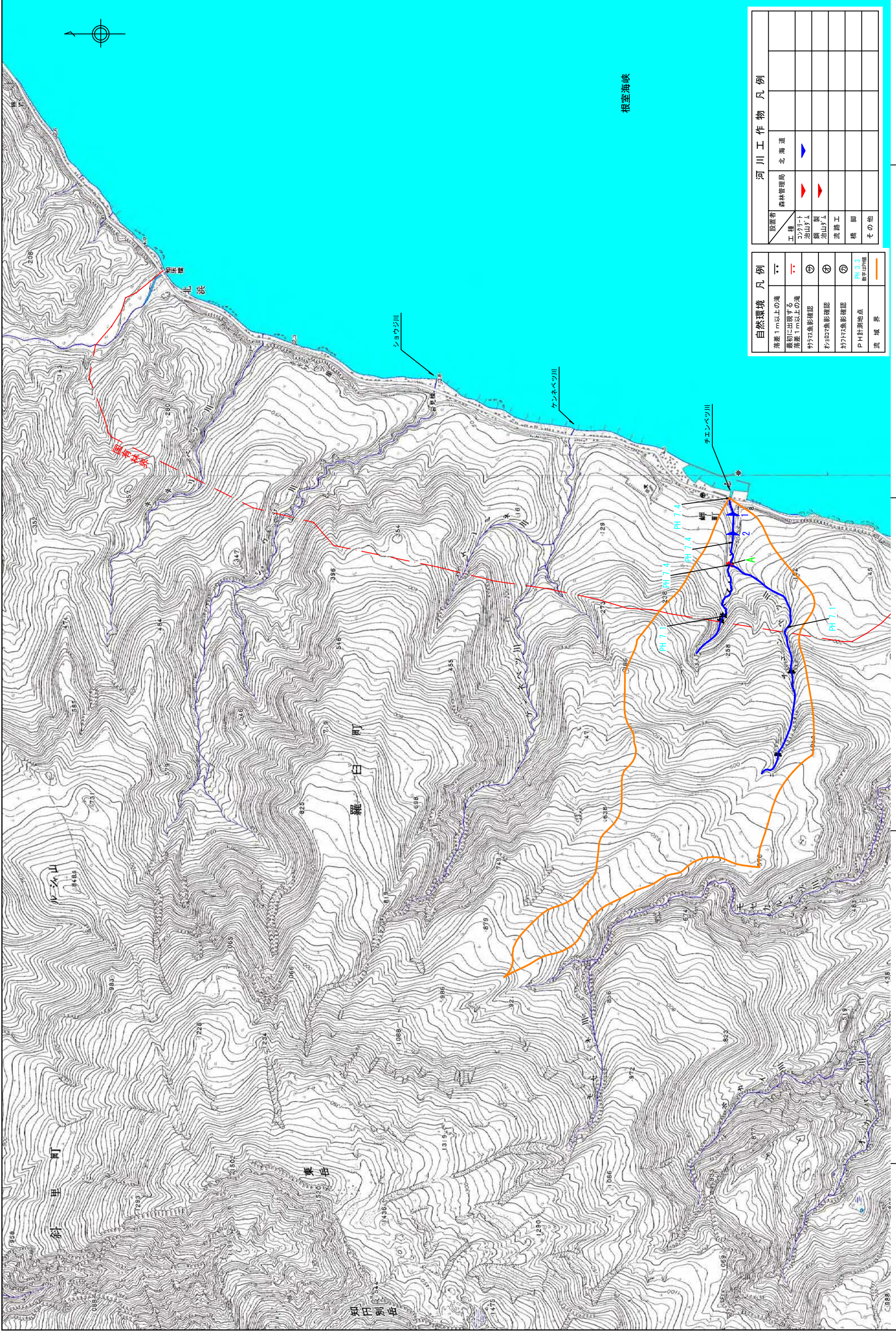
※北海道設置の1~18は、WGでの影響評価対象外



道路	==
橋梁	○
被害想定区 河口 ~ 熊越橋	○
被害想定区 熊越橋 ~ 湯元橋	○
被害想定区 湯元橋 ~ 湯の沢橋	○
被害想定区 湯の沢橋 ~ 上流	○
川岸からの距離 (m)	L=
川からの高さ (m)	H=

設置者	北海道	羅白町	開発局
工種	▶	▶	▶
コンクリート	▶	▶	▶
鋼製	▶	▶	▶
流路工	▶	▶	▶
橋脚	▶	▶	▶
その他	▶	▶	▶

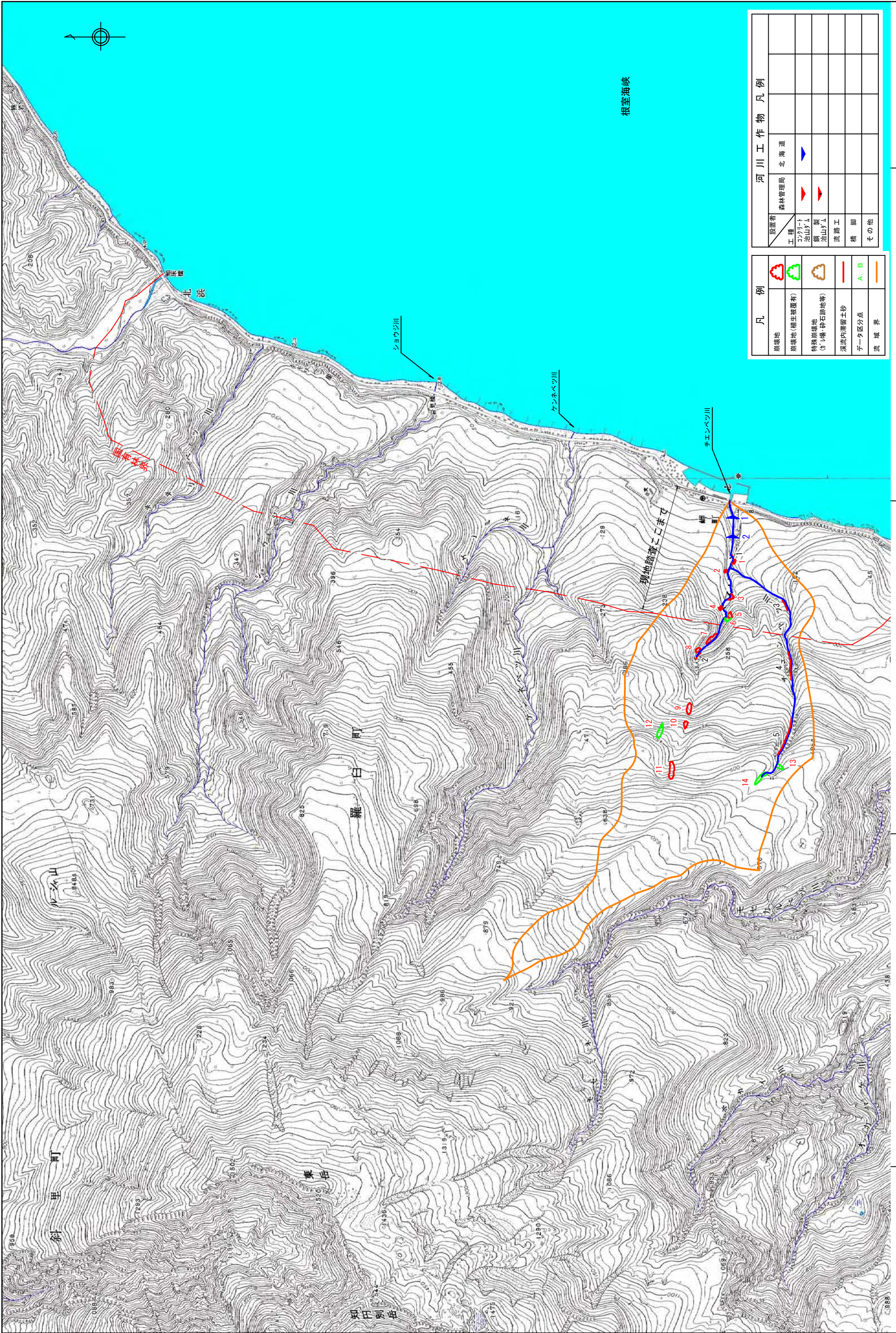
※北海道設置の 1~18 m は、WGでの影響評価対象外



落差 1m以上の滝	***
最初に出現する	---
落差 1m以上の滝	⊕
釣り禁止区域	⊖
釣り禁止区域	⊙
釣り禁止区域	⊗
PH計測地点	PH 3.3 数字はPH値
流域界	—

設置者	河川工作物	北海道
森林管理局	▲	
工種		
コンクリート	▲	
治山ダム	▲	
鋼橋		
治山ダム		
流路工		
橋脚		
その他		

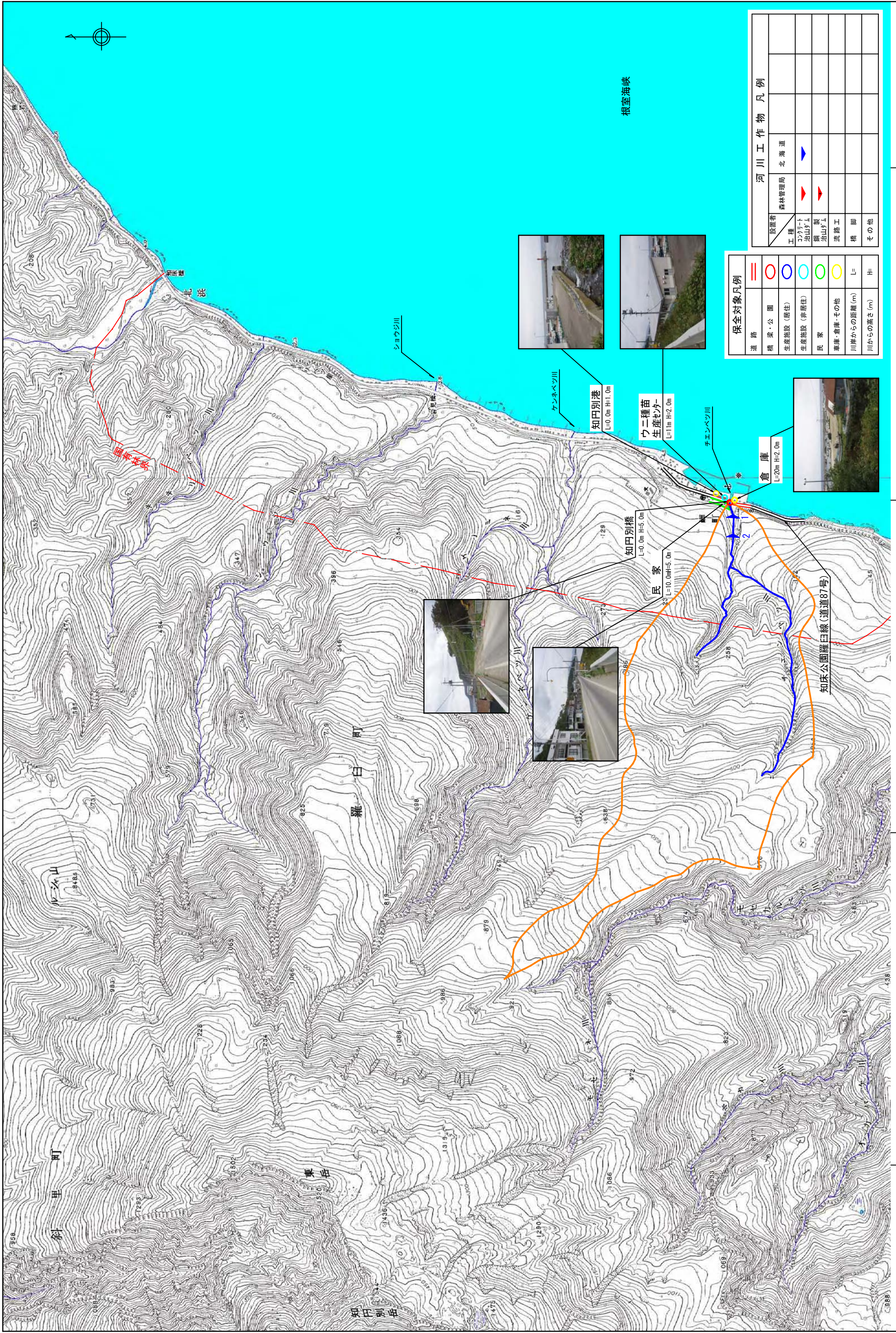
平成 18 年度 | 河川工作物 WG | 河川 : チエンベツ川 | 図面名 : 河川工作物及び河川環境の状況 | 縮尺 : 1:25,000



凡例	
崩壊地	
崩壊地(植生被覆有)	
特殊崩壊地(しほ場・砕石跡地等)	
漂流内滞留土砂	
テータ区分点	
流域界	

河川工作物凡例	
設置者	森林管理局
工種	北堤道
ツカサト	
池山ダム	
崩山ダム	
流路工	
橋脚	
その他	

平成 18 年度 | 河川工作物 WG | 河川 : チエンベツ川 | 図面名 : 崩壊地及び溪流内滞留土砂 | 縮尺 : 1:25,000



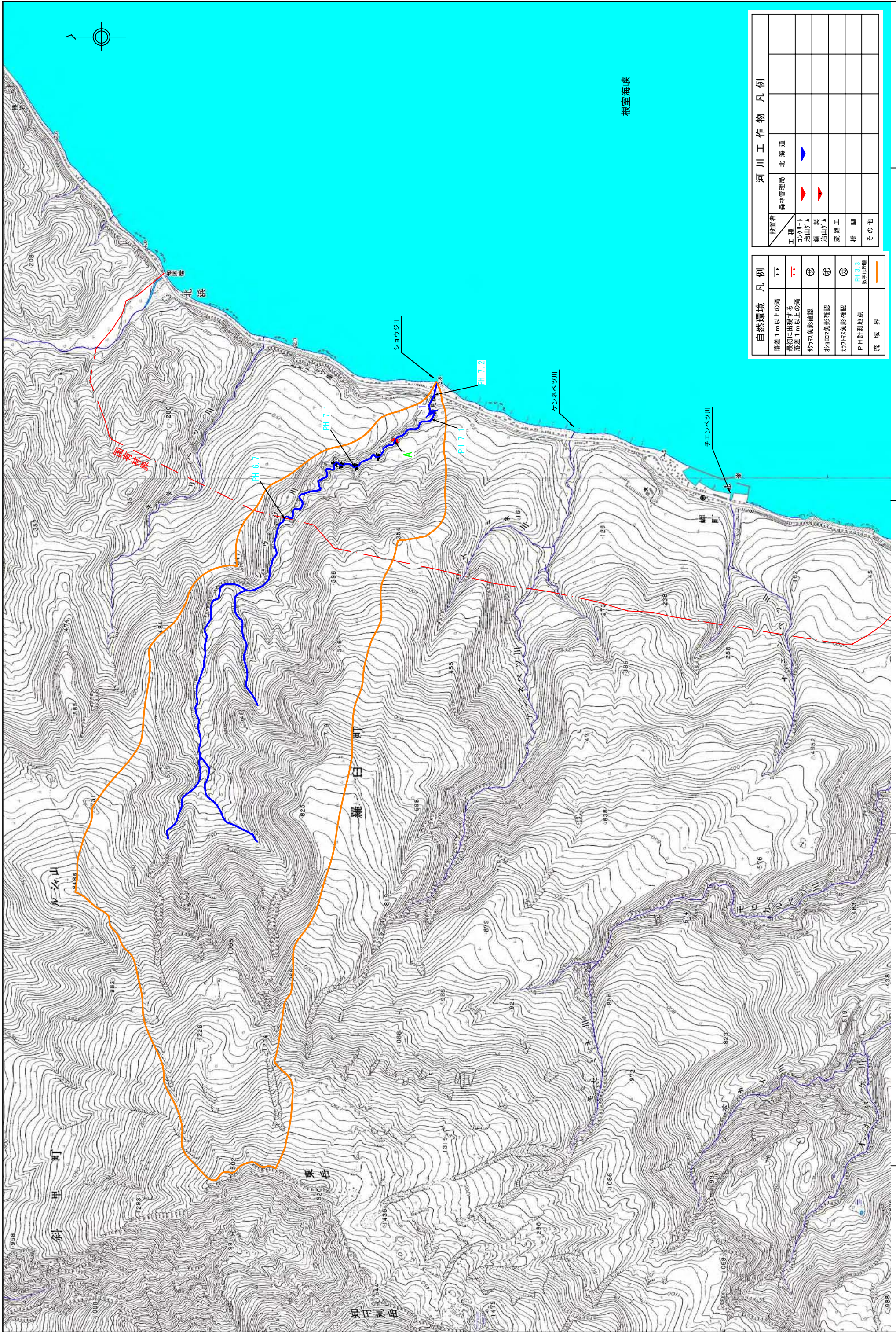
保全対象凡例

道路	==
橋梁・公園	○
生産施設(居住)	○
生産施設(非居住)	○
民家	○
車庫・倉庫・その他	○
川岸からの距離(m)	L=
川からの高さ(m)	H=

河川工作物凡例

設置者	森林管理局	北海道
工種	コウリト 治山ダム 鋼橋 治山ダム	▲
	▲	
	▲	

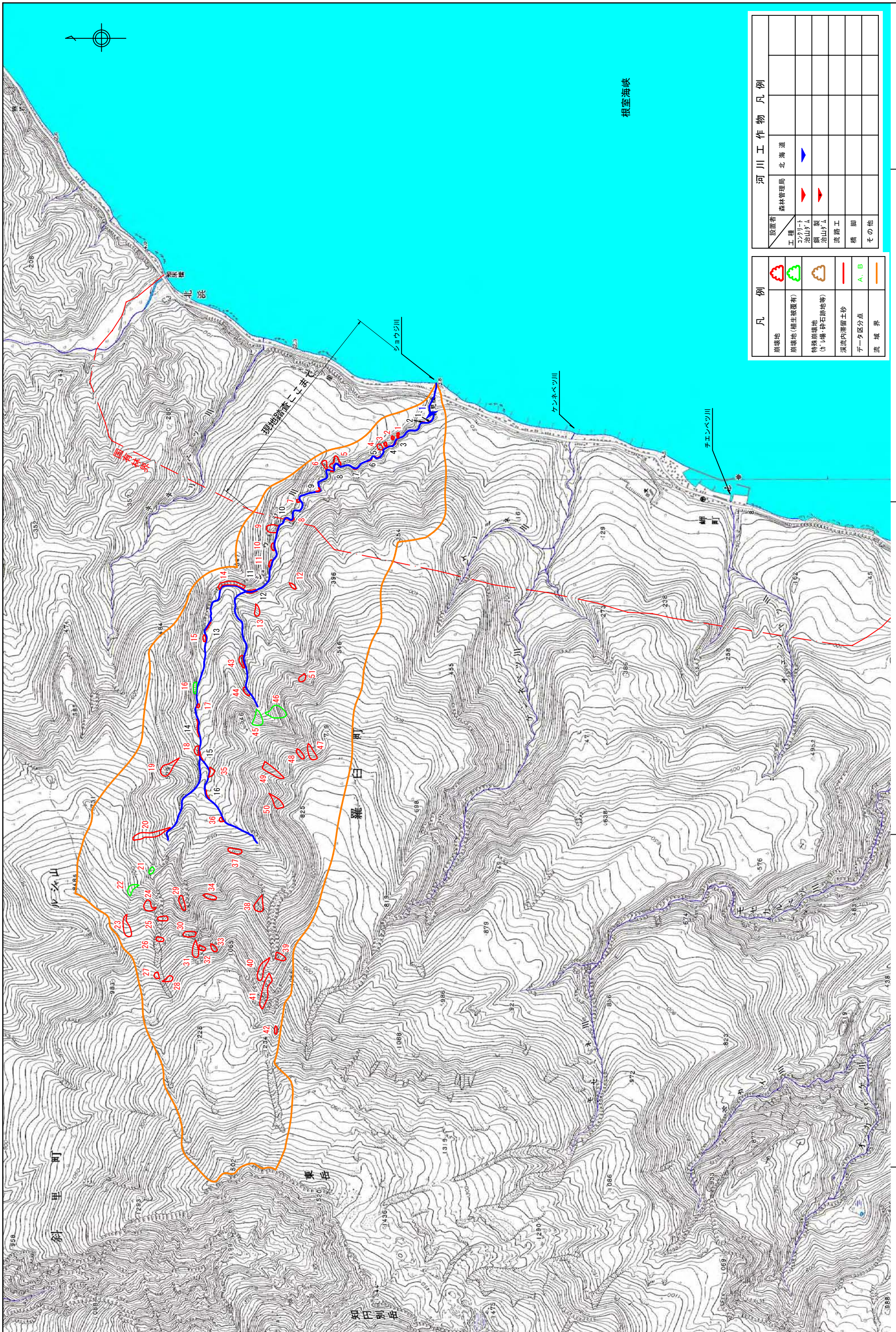




平成 18 年度 河川工物 WG シヨウジ川 河川 : シヨウジ川 図面名 : 河川工物及び河川環境の状況 縮尺 : 1:25,000

記号	説明
●	落差 1m 以上の滝
⊙	最初に出現する落差 1m 以上の滝
⊕	釣り魚影確認
⊖	釣り魚影確認
⊗	釣り魚影確認
PH 3.3	PH 計測地点 (数字はPH値)
—	流域界

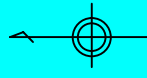
設置者	記号	説明
森林管理局	▲	北堤道
工種	▲	コンクリート
	▲	治山ダム
	▲	鋼管
	▲	治山ダム
	▲	治山ダム
	▲	流路工
	▲	橋脚
	▲	その他



平成 18 年度 河川工物 WG ショウジ川 河川 : ショウジ川 図面名 : 崩壊地及び溪流内滞留土砂 縮尺 : 1:25,000

凡 例	
崩壊地	
崩壊地(植生被覆有)	
特殊崩壊地(しほ場・砕石跡地等)	
溪流内滞留土砂	
テータ区分点	
流域界	

河川工物物 凡 例	
設置者	森林管理局
工 種	北 堤 道
ツツカリート	
池山ダム	
崩壊	
池山ダム	
流路工	
橋 脚	
その他	



根室海峡

斜里町

知内別荘

東岳

羅白町

柳町

北浜

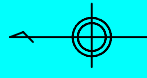
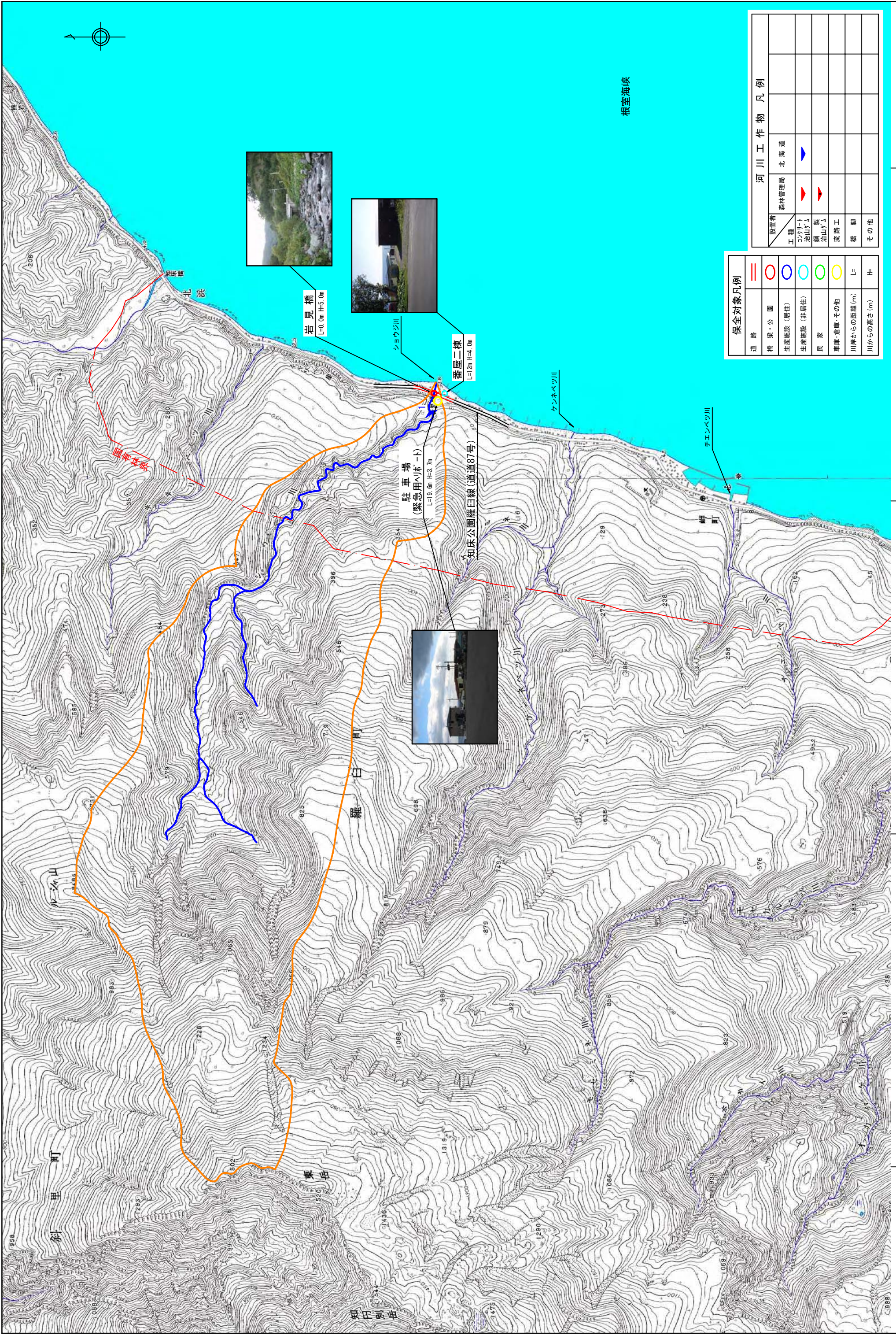
現地調査区

国庫林道

シヨウジ川

ケンネベツ川

チエンベツ川



岩見橋
L=0.0m H=5.0m



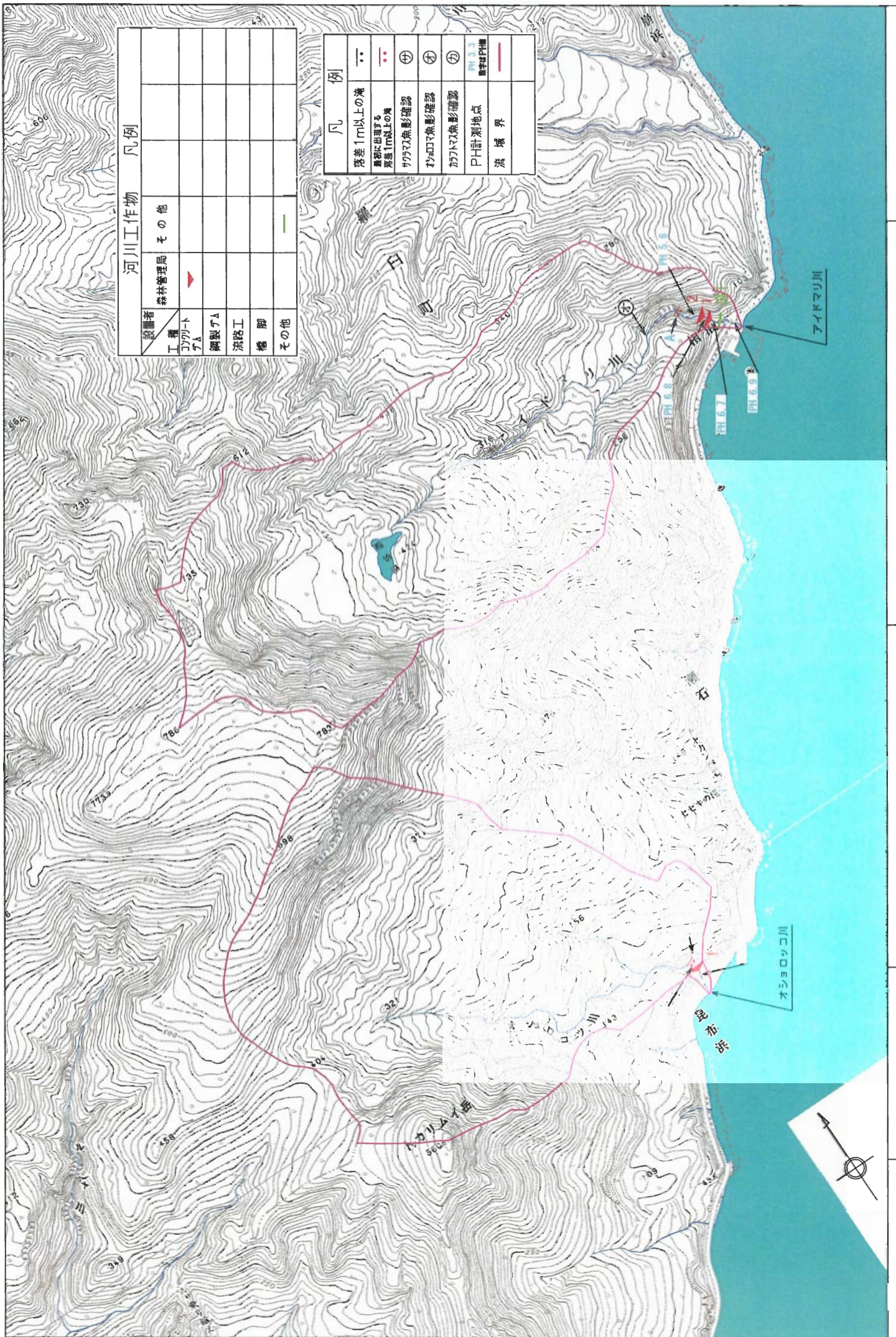
香屋二棟
L=12m H=4.0m



駐車場
(緊急用A1休-ト)
L=19.6m H=3.7m

道	橋	梁	公園	生産施設 (居住)	生産施設 (非居住)	民家	車庫・倉庫・その他	川岸からの距離 (m)	川からの高さ (m)
道路	橋	梁	公園	生産施設 (居住)	生産施設 (非居住)	民家	車庫・倉庫・その他	川岸からの距離 (m)	川からの高さ (m)
—	○	○	○	○	○	○	○	L=	H=

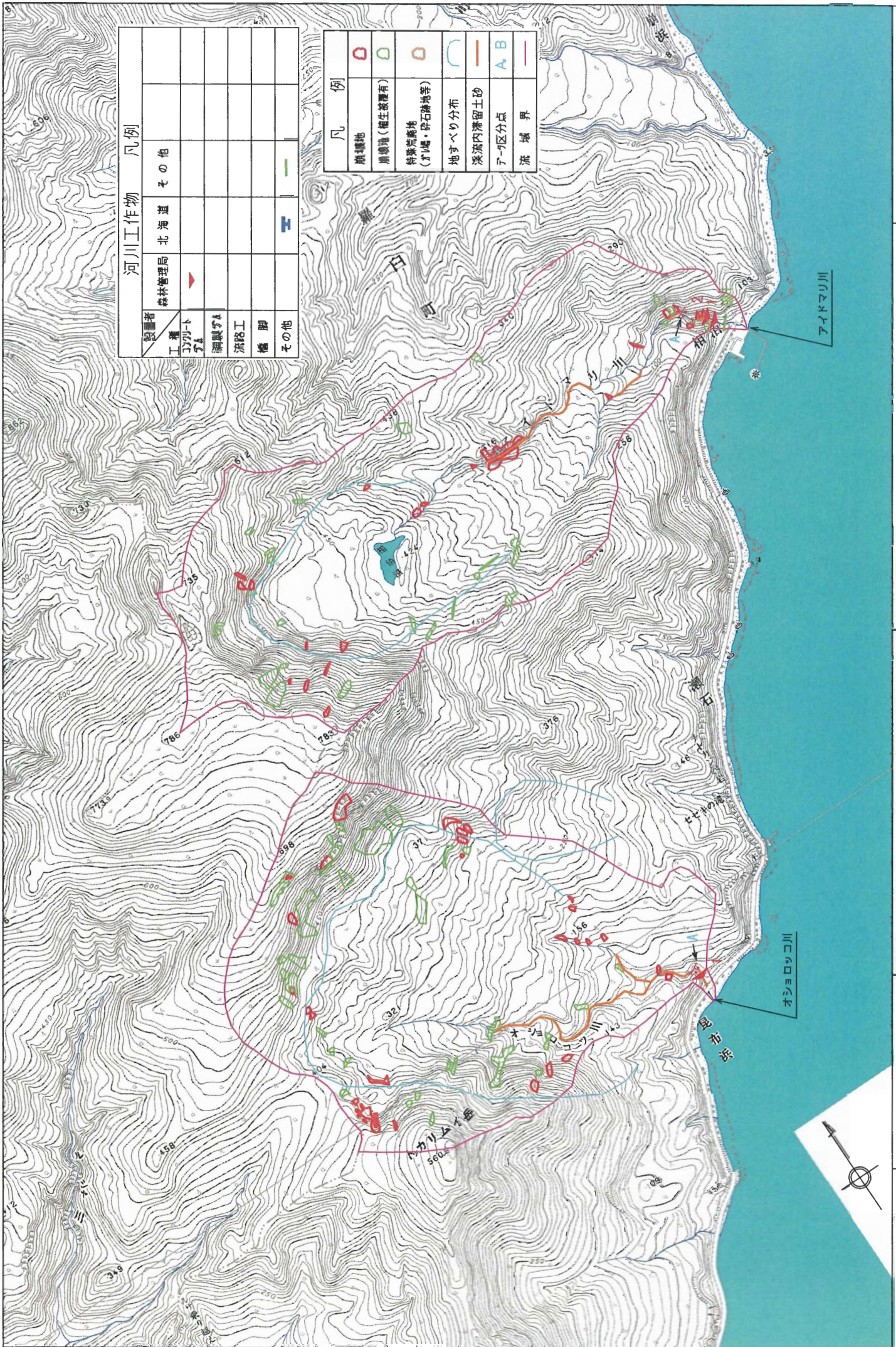
設置者	河川工作物	北浜道
森林管理局	北浜道	▲
工種	ツツカリート	▲
	池山ダム	▲
	網罟	
	池山ダム	
	池山ダム	
	流路工	
	橋脚	
	その他	



河川工作物		凡例
設置者	森林管理局	その他
工種	コクリートダム	鋼製ダム
	流路工	橋脚
	その他	

落差1m以上の滝	...
崩落に出現する落差1m以上の滝	...
ワカサギ魚影確認	⊕
わろまき魚影確認	⊕
カマサギ魚影確認	⊕
PH計測地点	PH 6.8
流域界	---

平成 18 年度 河川工作物WG 河川 : アイドマリ川 オンヨロコ川 図面名 : 河川工作物及び河川環境の状況 縮尺 1 : 25,000



河川工作物		凡例	
設置者	北海道	その他	
工種	森林管理局		
	コンクリート		
	海製アス		
	流路工		
	橋脚		
	その他		

凡例	
崩壊地	○
崩壊溝(植生被覆有)	○
特殊荒廃地(けい場・砂石露地等)	○
地すべり分布	○
渓流内滞留土砂	○
ア-B区分点	○
流域界	○

平成 18 年度 河川工作物 WG 河川 : アイトマリ川 オシヨロッコ川 図面名 : 崩壊地及び渓流内滞留土砂 縮尺 1 : 25,000

